

学びを止めるな



Illustrated by Takashi Inui

第60回(2021年)
 全国保育問題研究集会
 東京集会(オンライン)
 実行委員会
 〒113-0033
 文京区本郷 5-30-20
 サンライズ本郷 7F
 TEL 03-3818-8026
 FAX 03-3818-8026

東京集会(オンライン)実行委員会 チーフ紹介!②

現在行われている東京集会実行委員会は、様々な部署に分かれて、全国集会初のオンライン開催に向けて知恵を絞っています。各チーフから、自己紹介と、全国集会に向けての意気込みを語ってもらいます。第2弾は、記念講演・特別講座チーフの、高見さんです!

東京集会は、すべての「きっかけ」を

皆さんに贈ります

高見亮平

みなさん、こんにちは。高見亮平です。前回集会から五年が経ち、まさかこのような形でまた集会を引き受けることになるとは思っても見ませんでした。が、何事にもポジティブであり、好奇心旺盛なチーフM.T.O.K.Y.Oは、今集会ではオンラインという特性を最大限にいかして、今年のコロナ二年目においても学びを止めず、学びに困る方々にも一年分の「きっかけ」を共有できるものを数多く企画しました。

なんとといっても記念講演の対談は、今集会の目玉といっても過言ではないと私自身は思っています。保育所保育指針改定からさまざまな賛否が巻き起こっていましたが、汐見さんと大宮さんの対談ではどんな化学反応が起きるのか、とにかく皆さんも楽しみにしてください。聞いていると思います。聞いて終わり、聞いて満足ではなく、対談を聞いた方々がそれぞれに思う自分たちなりの指針というものを考えるきっかけになることを願っています。

また、特別講座では、東京保問研の研究者の方々を中心に組ませて頂きました。これもオンラインだったからこそ実現できたものだと思います。全ての講座において、答えを導き出すようなものにはなりません。私はこう考えますが、あなたはどうか考えますか?といったような提起をする形の動画になると思います。

つまり、AからJまで十講座ありますが、一講座視聴する度に今後、職場において研修が開催できるようなものだということです。私自身、どんなものに仕上がっていくのかワクワクしかありません。

対談、講座含めて十一の「きっかけ」を生み出すことで今年の一年がより豊かに私たちの学びを継続するものになることを願っています。

みなさん、ご期待ください!!



東京保問研 部会がんばってます!! ~目黒サークル~

松沼美樹

目黒サークルは東京だけでなく神奈川からも参加があります。コロナ以前は常時5、6名の参加があり「保育のなんでも」をモットーに、保育の実践検討はもちろん、本の読み合わせや昨年は職員同士のコミュニケーションを円滑にするにはどうしたらいいかなど、各園での取り組みを出し合いそれぞれの園で生かしています。コロナ禍においては、テーマを出して各園での取り組みをメールで集め会報に掲載し意見交換の場を作っています。早く顔を合わせての実践検討をできる日を楽しみにしています。

東京保問研のオンライン部会

現在東京保問研の各部会は、zoom を使用してのオンラインをメインに行っています。参加の方法は全国保問研 HP に記載されています。是非ご参加ください!

- 生活指導部会 3/26 (金)
- 乳児部会 3/29 (月)
- 文学部会 3/24 (水)
- 身体づくり部会 3/23 (火)



全国の仲間からのメッセージ



「こんな時だからこそ、学びと繋がりを大切に！」

北海道保問研 横井洋子

なかなか終わりの見えないコロナ禍の中、東京集会実行委員のみなさん、集会準備をありがとうございます。すべてを新しい試みの中で準備されていることは、まさにテーマ「学びを止めるな」そのものと思います。その「学び」の内容を幅広く膨らませていくのが私たち全国の保問研会員の役割かなと思っています。

東京はじめ全国のみなさんに大きな期待を込め、まだまだ寒く、凍りついたツルツル路面を移動するのに苦労している北海道からエールを送ります。

「参加費だけ、交通費をかけずに参加できる全国集会に参加して、全国のみなさんとともに学び、つながろう！」と呼び掛けていこうと思います。

「みんなの希望！東京集会」

熊本保問研 山並さやか

まずこのコロナ禍で、どの地域よりも一番大変な東京のみなさんが全国集会の準備をしてくださっていることに感謝の思いでいっぱいです。実行委員会もズームで行われているとのこと。2年前に熊本集会をした時に、顔を合わせていても伝えるのって難しいと感じていたことを思い出すと、東京のみなさまのチームワークと集会への熱意を感じます。

「学ぶ」ことってやっぱり大切、必要なんだと改めて考えたこの1年。タイトル「学びを止めるな」はその一言で保問研の歴史をも感じさせるキャッチコピーで胸に響きます。保問研ってやっぱりいい！オンラインだけでも、アツイ“体温”を感じる東京集会です！

東京の基調提案によせる気持ち

東京保問研 韓 仁愛

基調提案の「東京の保育をめぐる情勢と課題」を担当させていただきます韓仁愛です。

昨年10月中旬頃原稿依頼があり、少しでも役に立ちたいと気軽に引き受けました。ところが、いざ執筆し始めると、自分がいかに東京都の保育状況を把握できていないのか、どれ程重要な部分を担当しているのか痛感しました。第2回実行委員会に参加した際は、実行委員のみなさんに率直な気持ちを伝えご相談しました。すると、一人ひとりが各自の知っているコロナ対策と保育の工夫、自治体の情報に至るまで、ご自分のことのように探し集めて教えてくださいました。殊に、執筆した原稿に自信がもてず一人で悶々としていた時には、「こういうときこそ伝えあいだと思います」の一言があり、実行委員の方々と一緒に原稿を検討していただきました。改めて保問研が大事にしてきた「伝えあい」の深い意味に気づかされました。同時に、仲間の温かさに触れ、最後までみんなと一緒に頑張りたいと勇気づけられました。振り返ってみると、みなさんの役に立ちたい一心ではありましたが、どこか格好つけた自分がいたかもしれません。少し重荷が吹っ切れて、目一杯自分らしく提案者としての再スタートを切ることができました。

今回の基調提案は2本立ての内容になっています。東京におけるコロナ禍の保育の様子と工夫、そして、抱えている保育の現状と課題についてです。東京の保育の課題が今又は今後みなさんの課題となり、同じ床に立ち、共に悩みながら解決の方向を探していけたらと思います。そのためにも、「自分だったら」「自分の地域だったら」と捉えていただき、手と手をつなぎ一緒に歩みたいと思います。

2021年東京集会のスローガンにもありますが、「学びを止めるな」とは、実践を追究し続けることでもあります。自分と仲間の置かれている今を知り、これからを見通した上で、保問研で目指す道筋をみんなで一緒に作り上げ、次の世代の保育へつなげていくことだと思っています。基調提案がその基点になればと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



東京集会の HP が完成しました！

これから東京集会の申し込み等情報を随時更新していきます。
全国保問研の HP にリンクが貼られていますので、そちらからアクセスしてください。

第60回 全国保問研集会 東京集会(オンライン)

2021年6月12日(土) 13日(日) 20日(日)

保育問題研究会の原点 学びを止めない



保育問題研究会は、戦前・戦中・戦後そしていかなる災害下においても仲間が集い、学びへの探求心を持ち続け今日で85年を迎えました。新型コロナウイルスの脅威に晒される今もなおその精神が衰えることは決してありません。今だからこそ保問研85年の歴史に学び、オンラインであっても人と人とのつながりを再確認し、学びを継続していきます。

HP のトップ画像です。集会案内の表紙イラストを描いていただいた古賀さんのイラスト(右上)と、表紙にも使われたイラスト(左下)で飾られています。

こちらの QR コードからもアクセスできます♪
更新をお楽しみに♪



↓ URL はこちらです ↓

<https://confit.atlas.jp/zenhomon2021>